

# 能登を笑顔に コプの職員が 穴水町 災害ボランティア センターで 運営支援

被災した住民からの依頼とボランティアをつなぐ災害ボランティアセンターに密着

6月よりコプいしかわでは、毎週金曜から日曜の3日間、日本生協連、全国の生協の職員とともに穴水町災害ボランティアセンター（以下、ボラセン）の運営を支援するため、職員を派遣しています。7月2週目に参加した古府センターの地域担当者 廣野由泰さんが見たこと、感じたことを報告します。



7月12日(金)～14日(日)に参加したよ

おかやまコプ 有吉さん  
日本生協連 前田さん  
生協コプかごしま 門田さん  
コプいしかわ 古府センター 廣野さん  
コプいしかわ 組合員活動部 高島さん

ボラセンには  
いろんな団体が  
運営に協力  
しています

穴水駅前にある「さわやか交流館ブルー」内に設置。穴水町出身の遠藤 展示室をボラセンとして使用しています。



穴水町社会福祉協議会  
ボラセンの設置者であり全体の責任者。

コプ 日本生協連とコプいしかわ、全国の生協から職員を派遣。日本生協連とコプいしかわからは組合員活動部 高島寛さんと総合企画部 中川佳奈さんが交代で入り、全国生協からの職員をフォローしています。

認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード  
名古屋を拠点とする災害支援専門の団体。仮設住宅でのサロン活動や交流施設「ボラまち亭」の来訪者対応を担当。

NPO法人 ADRA Japan  
国際協力系の団体で、屋根のブルーシート張りなど一般のボランティアでは対応できない専門技術のいる依頼対応を担当。

なごや防災ボラネット  
名古屋市のボランティア団体のネットワーク組織。ボラセンでは活動に必要な資材の管理など物資班を担当。



世田谷ボランティア協会  
東京都世田谷区の民間ボランティア活動推進団体。ボラセンではコプと同じく、マッチングや依頼の受付を担当。



この他にも発災以降、さまざまな団体が支援に入っています。

## ボラセン運営 支援の1日 (金・土・日共通)

**7:00** 七尾市内のホテルを出発

本日の活動件数や参加予定のボランティア人数の報告、支援団体からの伝達事項などを共有。

**8:15** 朝礼

**8:30** オリエンテーション・マッチング

ボランティア活動参加ありがとうございます。皆さまのおかげで穴水町も一歩ずつ復旧復興に向けて歩めています

ボランティアへ活動中の注意事項を説明。その後、依頼内容に必要な作業人数や使用する車両台数にボランティアを組み合わせています。

**8:45** 送り出し

依頼の内容は納屋の家財の搬出です。隣りの家屋が半壊なので注意してください。〇〇さん、リーダーをお願いしますね

お気をつけて～

いってらっしゃーい

ニーズ受付・入力

依頼内容の詳細や作業の趣旨などをボランティアに説明します。

依頼内容聞き取り。依頼は電話だけでなく、町民の方が直接ボラセンに来られることも。応急危険度判定や家屋の罹災状況などの確認の他、活動時に必要な駐車スペースの有無なども確認。

**11:00** 活動終了の連絡

Aさん宅の搬出、終了しました。早く終わったので、他のところに応援に入りますか？

ありがとうございます。では次のBさん宅の地図を送りますね

無線のような一斉連絡や、互いの現在地がわかる地図機能があるアプリを入れたスマホをボランティアに渡してやり取りをします。

午後の組み合わせを考える

災害廃棄物仮置き場の受け入れ終了は15時！14時30分までに終わられる人数は…？

ボランティアセンターの廣野です。午後からボランティア5名で伺いますねー！

ちょっと遠いですがよろしくお願いします

依頼者へ電話連絡

お昼休憩

**13:30** 午後の送り出し

この依頼にある大きなタンスを2階から運び出せる通路はあるかな？

全体的な搬出量も確認が必要ですね

現地調査

必要があれば現地を訪問して、依頼者の方から直接お話を伺います。

MEMO お会いした方は「後ろを向いていても仕方ないし、やれることをやろう」と時間の経過もあってか前向きになっていました。支援に行っているのに、自分の方が勇気づけられるような、今までにない感覚でした。

**15:30** ボランティア活動終了・解散

同じグループで活動したボランティアさん同士、和やかな雰囲気でお話しています。皆さんいい笑顔です。

**16:30** 終礼

「おつかれさまでした！」

**3日間の支援を終えて**

両親が能登出身で小さい頃から何度も能登に行っていること、前職でもよくしてくれた方が能登にたくさんいたこと、親族が震災で亡くなったことなどが重なって何かできることはないかと考え、支援職員の募集に応募しました。今回支援に参加し、ボラセンの中では「今できることは」、「何をしなければいけないか、今後どうしていこうか」を具体的に考えて、前向きに頑張ろうという勢いのようなものを感じました。これはボランティアの方と直接やり取りをするマッチング業務に携わったから感じられたのかもしれませんが、現地で予定外のことが起こったときにも、ボランティアの方には「実際に行ってみないとわからないから気にしないでいいよ」とフォローしていただき、3日間を通して何度も助けられました。現地の状況は一歩ずつですが進んでいるように思います。また進んでいこうとしています。今回はそう感じるが多かったと思います。ただそれは一人の頑張りではなくて、関わっているたくさんの人たちの助けによるもので、普段の自身の業務にも言えることだと改めて思いました。

コプいしかわ古府センター 押野・西南部・館野地域担当 廣野 由泰さん

**私ができること**

**応援ボランティアに参加する**

コプいしかわでは、組合員や役員が活動する応援ボランティアに取り組んでいます。2次避難所での炊き出しや現地で被災したお宅の片付けなどの活動をしています。これまでに8回、のべ74名が参加しています。

重い物も協力して運びました▶

**買って応援する**

被災した生産者やメーカーの商品、能登の原料を使用した商品をコプファミリーやじわもーで掲載しています。ご利用いただくことで支援につながります。

応援ボランティア登録募集中！登録はこちら

石川 県民生活に 買って応援、ありがとう